

これまでの説明会での課題の検討状況について

これまでの説明会で、仮に路面電車の進入ルートを経前大橋ルートとする場合、「比治山線の駅前大橋南詰交差点接続の可能性」、「廃線区間の代替交通の確保」といった検討課題がありました。今回の説明会では、この2つの課題の検討状況について御説明いたします。

1 路面電車を駅前大橋ルートとする場合の比治山線の駅前大橋南詰交差点接続の検討状況について

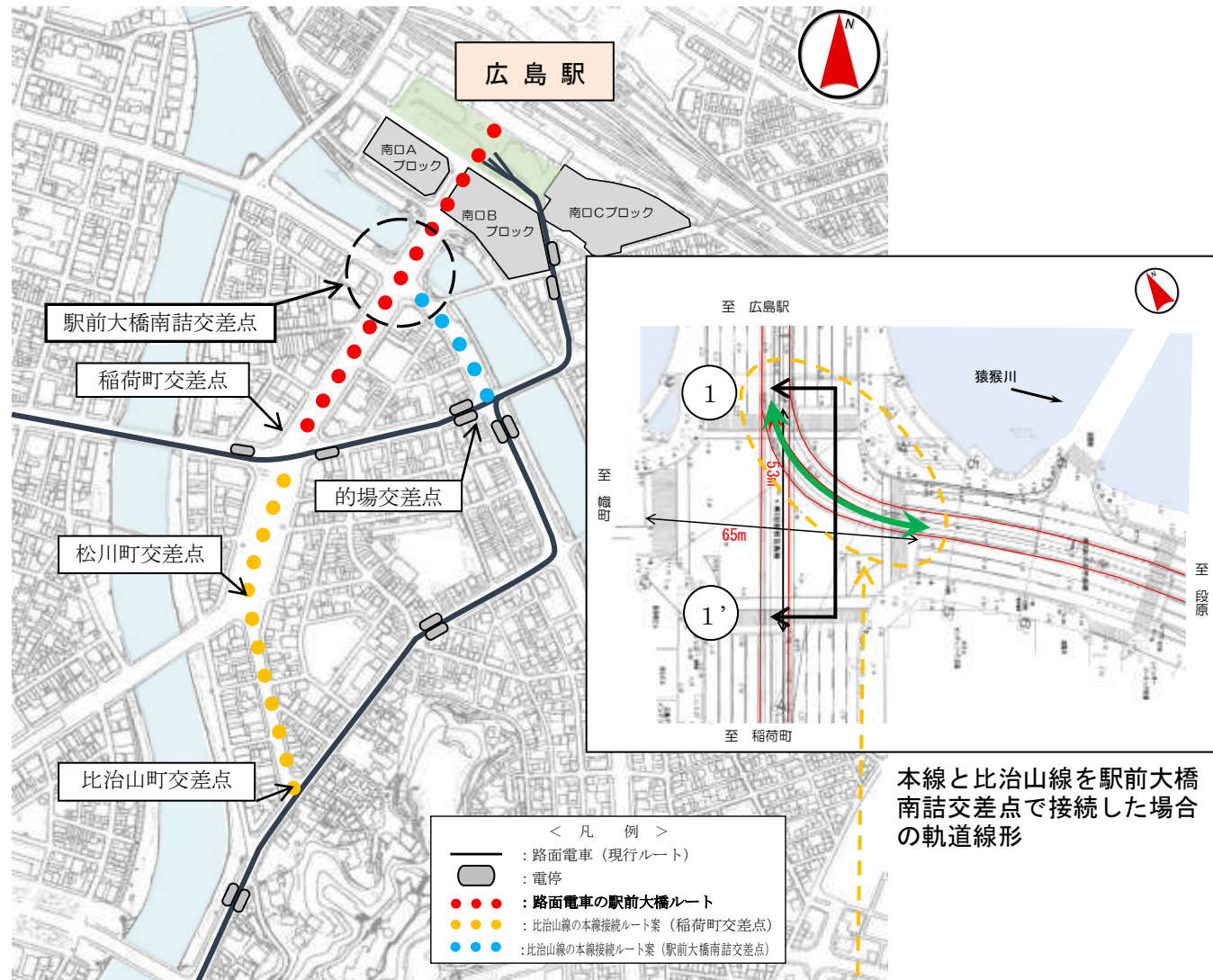
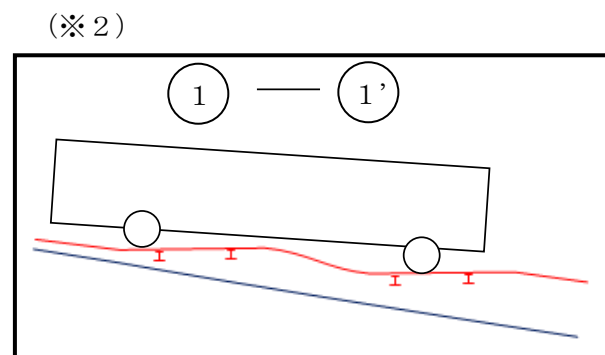
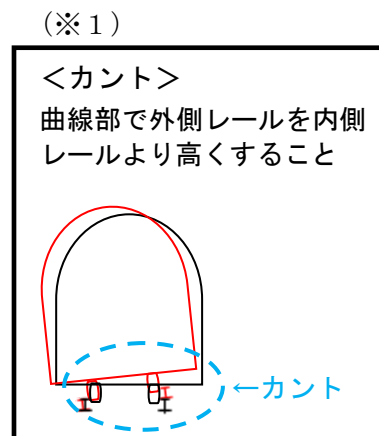


図 3-1 駅前大橋ルートと比治山線の接続ルート平面図



【主な意見】

- ・ 電停を廃止すると地元住民は大変不便になるため反対である。
- ・ 的場町電停や段原一丁目電停を廃止しないルートとして比治山線は駅前大橋南詰交差点（以下「南詰交差点」という。）接続とすればよい。

【前回説明会での説明内容】

駅前大橋南詰交差点で、路面電車の本線と比治山線を接続する場合、路面電車が交差点を通過するために必要な信号青時間を確保すれば、他の自動車交通の信号青時間を減少させることになり、ラッシュ時に交通渋滞を生じさせる可能性が高いことから、駅前大橋南詰交差点での比治山線の接続は困難な状況です。

しかしながら、地元説明会での意見を踏まえ、現在、道路構造面を含め、比治山線の駅前大橋南詰交差点での接続の可能性について検討しています。

【今回の説明内容】

～比治山線を南詰交差点接続とする場合の課題と検討状況～

<検討課題1> 自動車の走行安全性の確保について

一般的に路面電車が通行する軌道のカーブ区間には、カント^(※1)を設置する必要があります。カントを設置する場合、交差点内にある軌道部分に凹凸が生じるため^(※2)、自動車の走行安全性を確保する必要があります。

検討状況

道路を一部嵩上げするなどにより、自動車の走行安全性を概ね確保できる見込みですが、その一方で隣接民有地において、出入りがしづらくなる箇所が出てくることから、これについて所有者の方々の御理解が得られるかどうかといった課題があります。

<検討課題2> 路面電車の走行安全性の確保について

路面電車が本線⇄比治山線を走行する際、南詰交差点内で曲線区間走行となり安全性を確保する必要があります。

検討状況

南詰交差点は、交差点規模が大きく、曲線区間が長く、南北方向に縦断勾配があります。このため、路面電車の発進時や曲線区間走行時の揺れによる車内転倒事故が懸念されます。さらに、自動車交通量も多いことなどから、自動車との接触事故の発生が懸念されます。このように路面電車の走行安全上課題があります。

<検討課題3> 信号運用について

路面電車が南詰交差点内で本線⇄比治山線に進入する際の信号必要青時間を確保する必要があります。

検討状況 現在、南詰交差点においては、歩行者の安全性を確保するため、歩車分離式信号で運用されています。

この歩車分離式信号の運用や信号のサイクル長を変更せず、路面電車の信号必要青時間を確保するため、関係機関と調整してきました。

その結果、当該交差点単体では路面電車の信号青時間の確保は可能と思われれます。

しかし、当該地域は多くの交通が集中しており、周辺交差点で渋滞を招かないようにしなければならないといった課題が残っています。



以上のように、南詰交差点接続の実現には困難な課題がありますが、引き続き地域の利便性を確保するための方策を検討していきます。

2 路面電車を駅前大橋ルートとする場合の代替交通確保策について

【主な意見】

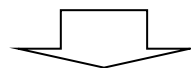
- ・ 代替交通としてのバスは、事業者が撤退すると言えれば廃止になるので、駄目である。
- ・ 代替交通の案として出された、広島駅と廃線地区を結ぶ循環バスでは、誰も利用しない。都心直結便でなければ利用しない。

【前回説明会での説明内容】

路面電車を駅前大橋ルートにする場合、廃線区間の代替交通として、路面電車の乗換え電停と廃線区間を結ぶ循環ルートの一つの案として提示させていただきました。

代替交通として運行する循環ルートのバスについては、広島電鉄㈱が対応する旨の回答を得ています。

また、都心直結便などの路線については、都市の利便性も考慮して効果的な公共交通となるよう、広島県バス協会に要請しており、広島電鉄㈱としても積極的に関与していくとの回答を得ています。



【今回の説明内容】

～代替交通の検討状況～

現時点において、広島電鉄㈱が代替交通として運行する循環ルートのバスについて対応するとともに、都心直結便についても、

- ・ 既存路線のルート変更などにより、廃線区間から市内中心部へ運行する。
- ・ 路線の選定や便数等については他のバス事業者と調整し、その結果、他のバス事業者が運行しない場合は、広島電鉄㈱が対応する。

との回答を得ています。

【参考 廃線区間を運行する主な既存バス路線】

- ① 広電バス 2号線（府中～広島駅前～八丁堀～紙屋町）
- ② 広電バス 4号線（東雲～段原一丁目（中広宇品線）～的場町～広島駅～八丁堀～紙屋町）
- ③ 芸陽バス 海田・広島線（海田～広島駅前～八丁堀～バスセンター）など

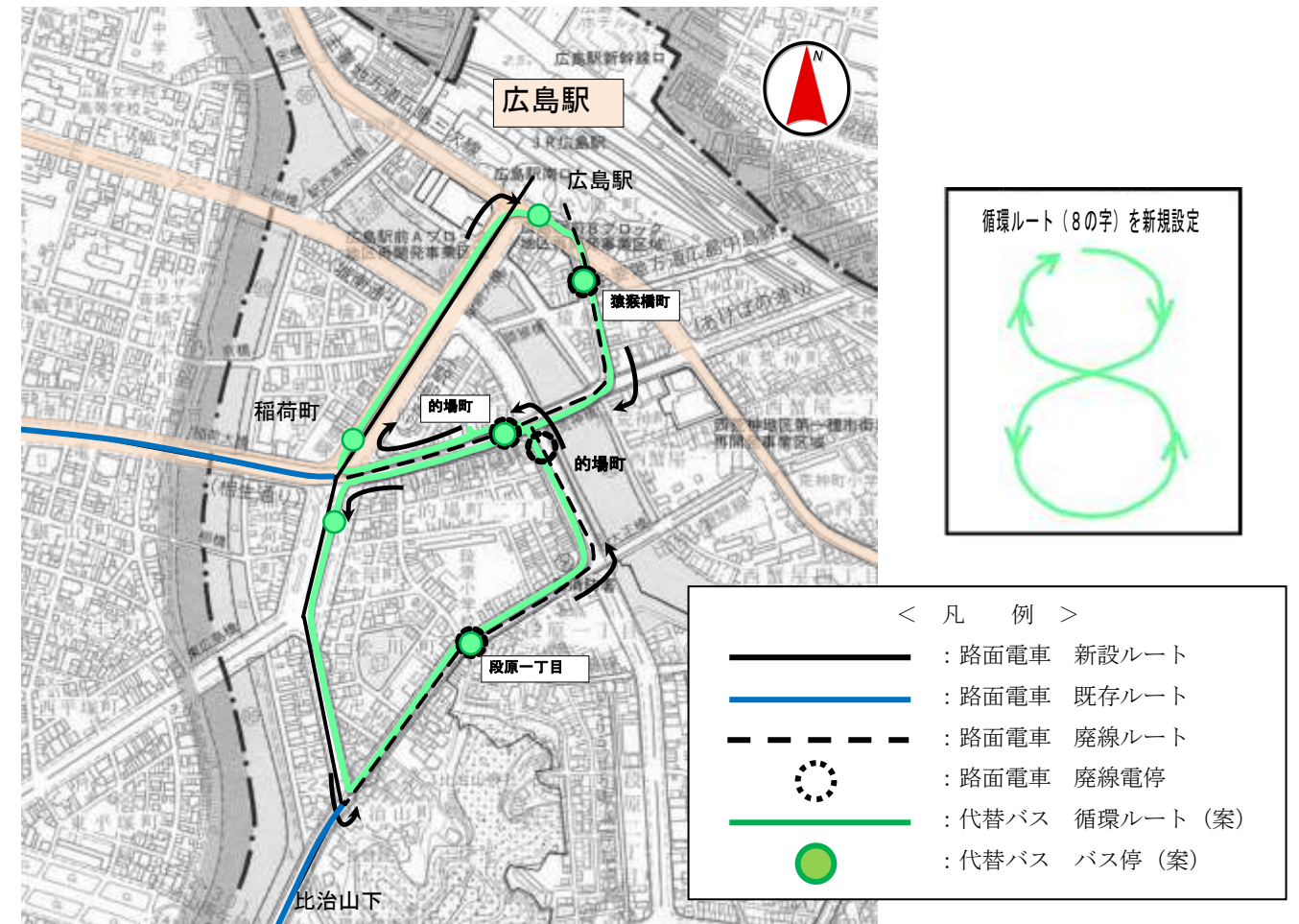


図 3-2 前回説明会で提示した廃線区間の代替交通ルート案【循環ルート（8の字）】